

# 悠久の時代に想いを馳せて



川西町

## 古墳面白ゼミナール

期日 ■平成5年10月2日(土)・3日(日)

会場 ■2日(土)▼埋蔵文化財資料展示館 ■3日(日)▼川西町下小松古墳

内容 ■10月2日(土)1時～5時 聖賜の古墳巡り

■10月3日(日)9時～12時 下小松古墳にて講演

参加料 ■1名1,000円

主催 ●山形県川西町 ■川西町教育委員会



古墳はもともと当時の要  
命を守るためのイカヅク先  
達の知恵と力

県立うきたむ風土記の丘

## 企画展「古墳と人々の暮らし」

期日 ■平成5年10月1日(金)～11月30日(火) 9時～4時30分

月曜 祭日休館、ただし文化の日は開館

特別講演 ■10月9日(土)1時30分より

「東北地方の末期古墳について」福島大学教授・工藤雅樹氏

会場 ●県立うきたむ風土記の丘考古資料館

■川西町教育委員会社会教育課/山形県東置賜郡川西町大字上小松1736-2/TEL(0238)42-2111代

お問い合わせ

■県立うきたむ風土記の丘考古資料館/山形県東置賜郡高畠町大字安久津2117/TEL(0238)52-2585

# 企画展

# 「古墳と人々のくらし」

今、地域の古代を考える

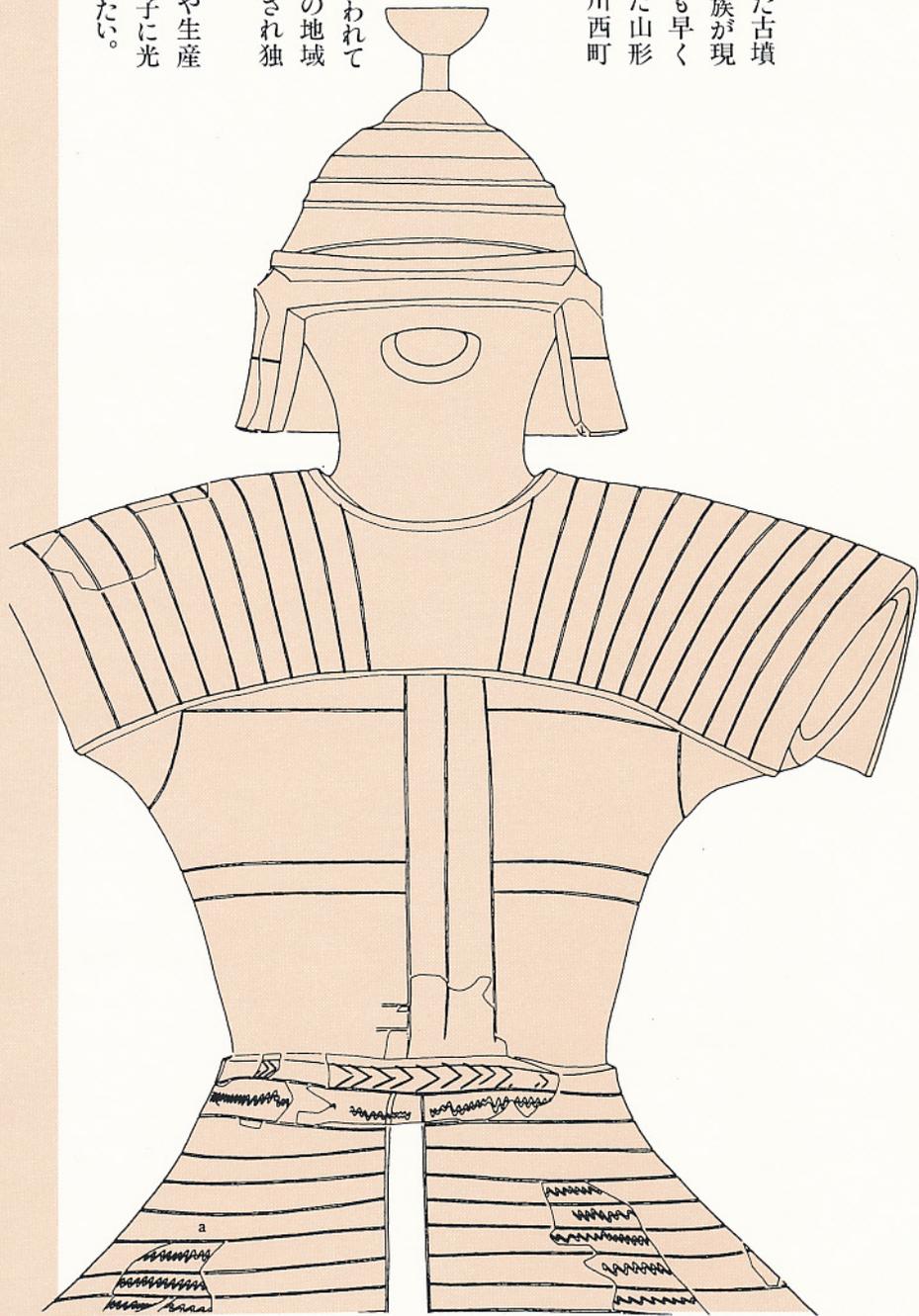
期間 10月1日より11月30日まで  
※11月1日より開館時間は午前9時30分〜4時30分です。

## 趣旨

日本の国が統一を成し遂げつつあった古墳時代(4世紀〜7世紀)に、各地に豪族が現われ、巨大な古墳が築かれた。もともとも早く古墳が出現する畿内から遠く離れた山形県においても、南陽市稲荷森古墳や川西町天神森古墳、米沢市宝領塚古墳などの前方後円墳(方)墳が4世紀には現われる。山形市菅沢2号墳は5世紀の東北最大の円墳である。

これまでかなり遅れて開かれたといわれていたが、畿内に国家が誕生するころ、この地域にも豪族があり、政治的社會が形成され独自の歩みを始めていた。

古墳のみならず、その当時の生活や生産に関する資料も展示して、地域の様子に光をあて、地域の古代を考える機会にしたい。



甲冑形埴輪 山形市菅沢2号墳出土

## 特別講演

# 「東北地方の末期古墳について」

講師

福島大学行政社会学部教授  
工藤雅樹

工藤雅樹

東北大学文学部卒。宮城学院女子大教授を経て、現在福島大学行政社会学部教授。東北古代の考古学研究的第一人者で、「研究史・日本人種論」「古代の蝦夷」など著書論文多数。

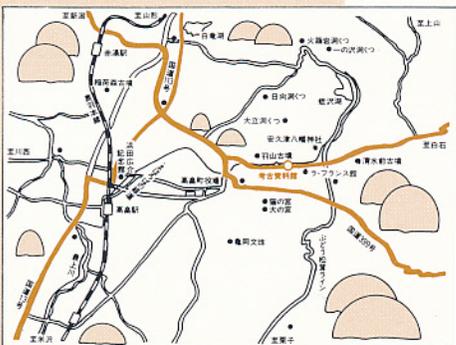
日時 平成五年十月九日(土) 午後一時三〇分より  
場所 当資料館研修室  
参加者 電話にて申し込み先着七〇名まで  
参加料 五〇〇円(入館料・資料代)

山形県立 うきたむ

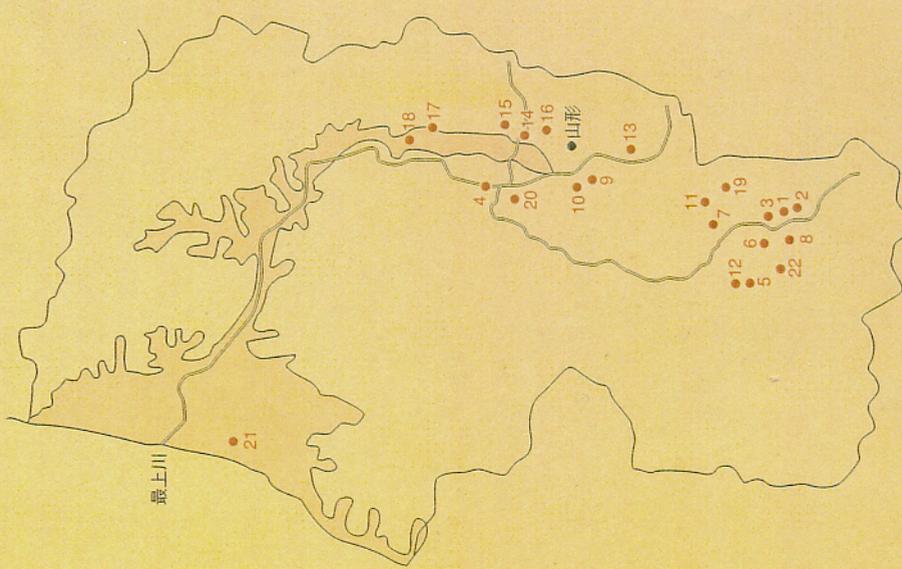
# 風土記の丘

考古資料館

- 住所 東置賜郡高畠町大字安久津2117
- 電話 0238-52-2585



# 山形県の主要古墳分布図



- 1：比丘平遺跡
- 2：八幡堂遺跡
- 3：上浅川遺跡
- 4：高瀬山遺跡
- 5：天神森古墳
- 6：宝領塚古墳
- 7：稲荷森古墳
- 8：戸塚山古墳群
- 9：菅沢2号墳
- 10：大之越古墳
- 11：松沢古墳群
- 12：下小松古墳群
- 13：土矢高古墳群
- 14：衛守塚2号墳群
- 15：上蓮矢塚古墳群
- 16：お花山古墳群
- 17：大塚古墳
- 18：名取古墳群
- 19：安久津古墳群
- 20：坊主窪古墳群
- 21：意津古墳
- 22：成島古墳群
- 23：蒲生田古墳群
- 米沢市万世町
- 米沢市万世町
- 米沢市浅川
- 寒河江市高瀬山
- 東置賜郡川西町上小松
- 米沢市窪田町
- 南陽市長岡
- 米沢市上新田
- 山形市菅沢
- 山形市門伝
- 東置賜郡川西町下小松
- 南陽市松沢
- 上山市金合
- 山形市漆山
- 天童市長岡
- 山形市青野
- 東根市東根本郷
- 村山市名取
- 東置賜郡高島町安久津
- 鶴岡市意津
- 米沢市成島
- 南陽市上野

# 主な展示資料

資料名	点数	出土遺跡	保	管
甲冑形通輪	1	山形市菅沢2号墳	山形市教育委員会	
鞠形通輪	1	〃	〃	
朝顔型通輪	1	〃	〃	
金銅装及鳳凰柄頭	1	伝鮎川村出土	山形県立博物館	
三累環柄頭	1	高島町安久津古墳群	山形大学	
直刀	1	米沢市戸塚山古墳群	〃	
大刀及び鈔、大刀金具	5	〃	山形県立米沢興業館高等学校	
鉄鍔	5	〃	〃	
大刀金具、刀子、鉄鍔	6	南陽市二色根古墳群	南陽市教育委員会	
大刀、土器 他	8	南陽市上野塚山古墳	〃	
小型鎧筒文銅鏡	1	川西町下小松143号墳	川西町教育委員会	
鍔先、鉄鍔	1・2	〃	〃	
鍔鉤、鉄鍔、刀子	各1	川西町下小松61号墳	〃	
土師器	3	川西町竜蔵北	〃	
鉄鍔	6	米沢市戸塚山古墳群	米沢市教育委員会	
炭化米		米沢市笹原	〃	
菅玉原石及び未製品	13	米沢市上浅川	〃	
須恵器 蓋	1	〃	〃	
須恵器 長須壺	1	米沢市本和田古墳	〃	
土師器	6	米沢市上新田	〃	
須恵器 甕	1	〃	〃	
須恵器 一括	17	高島町安久津2号墳	高島町教育委員会	
土師器	15	中山町物見台	山形県歴史文化財センター	
かまど型土器	1	〃	〃	
須恵器	3	〃	〃	
紡錘車	4	〃	〃	
菅玉	3	〃	〃	
木製品 支柱、鋤、木槌、下駄等	12	天童市西沼田	〃	
土師器	7	〃	〃	
須恵器	2	〃	〃	
自然遺物 (種子類)		〃	〃	

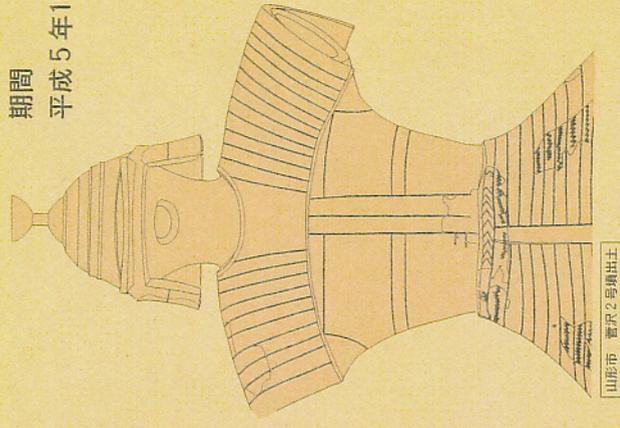
# 企画展

## 『古墳と人々の暮らし』

今、地域の古代を考える

期間

平成5年10月1日～  
11月30日



### 開催にあたって

本県もふくめて東北地方は、かなりおくれおくれで開かれ、長い間未開の地であったといわれてきました。しかし最近の研究成果は、日本の国が統一をなすとげつつあった4世紀には、畿内より遠くはなれた山形の地においても、前方後円(方)墳が築かれていました。

これは4世紀のころ、農業生産の発展を基礎に各地に豪族があらわれ、村々を統合する首長層が力をもちはじめたことを示しています。

最近の発掘された資料を展示して、古代の地域のようすを考えるとともに、当時の生活や生産についての資料も提示し、農業が定着し、政治社会が出現した古代に光をあてていきたいと思っています。

第一回企画展を開催するにあたり、貴重な資料をご提供いただいた各位に深甚なる謝意を表するものであります。

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

山形県立 うきたむ

風土記の丘

考古資料館

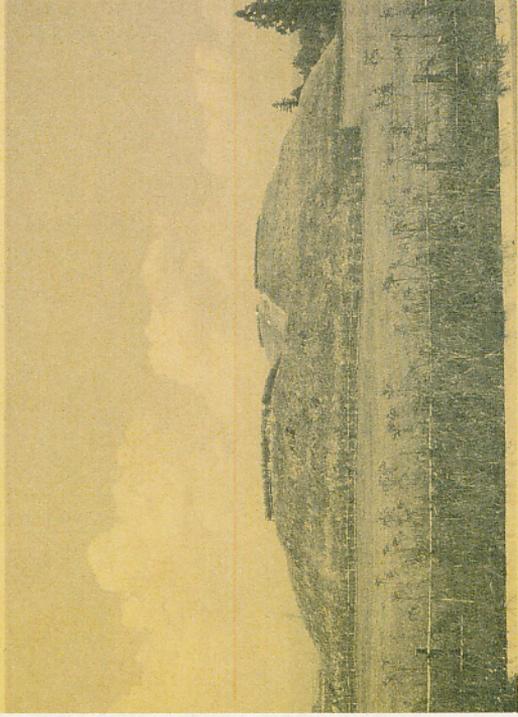
## 1.古墳とその時代

山形県において、古墳が人びとに注目されるようになってきたのは、つい最近のことです。昭和に入って10年前後、西村真次などの研究者が置賜地域の古墳の調査をやっています。

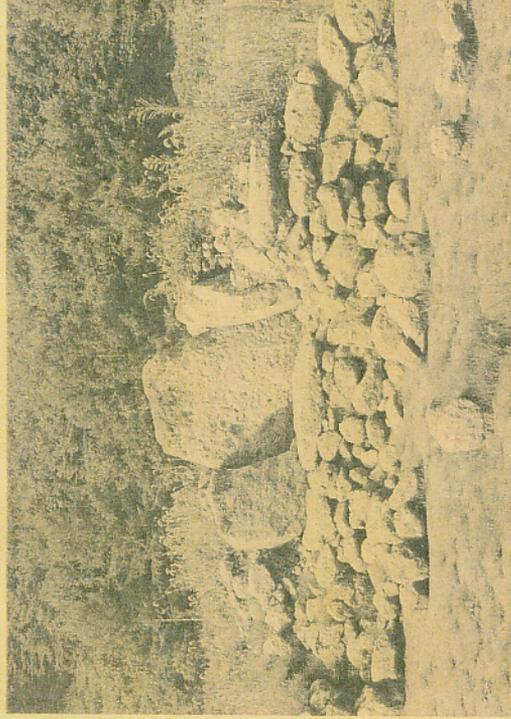
しかし山形県内の古墳の出現が意外に古く、畿内に日本の大もとになる国ができたか、4世紀にさかのぼる古墳があること、古墳以前の方形周溝墓や巨大な前方後円(方)墳のあることがわかったのは、ごく最近のことです。

このことは、すでに4世紀の段階で、農業をいとなむ村々が発展し、いくつかの村を統合し支配する豪族が現われたことを示しています。畿内においてようやくやがて国家が統一への歩みが始めたころ、この地域にも政治的社會が形成されていたことが考えられます。これは関東地方や福島・宮城などと共通しています。

そして6世紀には、古墳の規模は小さくなりますが、各地に小規模な古墳があらわれ、古墳群が形成されます。置賜地方に横穴式石室の古墳が出現するのは7世紀に入ってからとみられますが、國家の力が地方に及び、律令体制にくみこまれるようになって、古墳が相変わらず利用されていることの中に、東北の独自の様相をよみとることができます。



南陽市稻荷森古墳  
(国指定)



高島町安久津2号墳  
(横穴式石室)

## 2.古墳と村とくらし

弥生時代に米作りがはじまると、これまでの集落は大きくなり人口もふえます。古墳時代に入ると農業を営む大きな集落が方々にあらわれます。古墳に築かれたのはそれらのいくつかの村を支配する豪族ですが、古墳をつくったのは村々からくり出された農民たちでした。

農民たちは、竪穴式住居に住み農業をいとなんでくらししていました。県内でもそれらの大きな村の跡が発掘されています。天童市西沼田、山形市嶋中山町物見台、高島町南原などは古墳時代の後期の大きな集落跡です。

とくに西沼田や嶋からは、低湿地であったために、建築部材や農具などの木製品が多量に出土しました。それらの村のあとからは、織機の一部や紡錘車、麻の実なども発見されることから女たちは盛んに機織りに携わっていたことがわかります。

古墳時代の後期になると畑作も発展し、山間部にも村が出現するようになります。

## 3.生産の様子

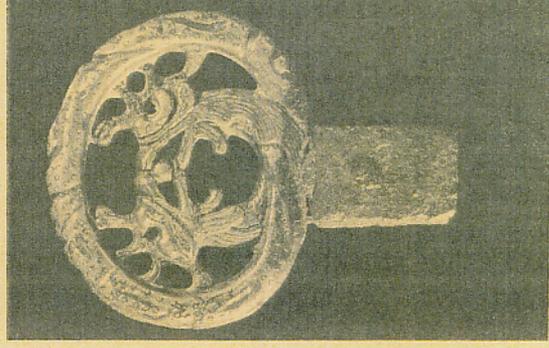
古墳時代の生産の中心は、水田農業です。はじめは水田に適する扇状地先端部など、自然に水が湧き出す低地を利用しています。

しかし、かんがい技術や排水の技術の進歩にともない水田はひろがっていきます。山形市嶋遺跡や山辺町南原では、奈良時代の畔や水田の一部が発掘されました。

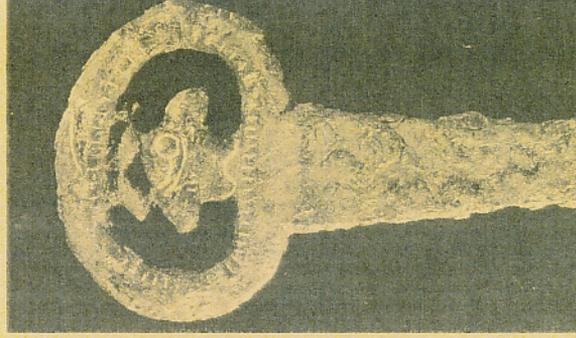
収穫された稲は、高床式の倉庫に収められました。西沼田や嶋からは、倉庫にかけた「はしご」なども発見されています。もうすでに田植えが行われ、稲刈りも鉄の鎌で今と同じように根刈りで行われていたと思われるのです。

農業のあいまいには、布をつくる機織りが利用されたものと思われるのです。その他、鉄をつくったり鍛冶をやっている遺構もみつかっています。高島町南原遺跡では、製鉄の炉や鉄滓が発掘されました。土器つくりも古墳時代のたいじな生産の一つです。5世紀後半の技術革新によって、ろくろ

を使用し、のぼり窯で焼成する須恵器ののぼり窯がこの地域に出現するのは8世紀以降のよう



双鳳式環頭  
(伝 鮭川村出土)  
県立博物館提供



単鳳式環頭  
(山形市大之越古墳出土)  
県立博物館提供